

## 令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・実践的、体験的な活動を多く取り入れることで、制作することに自信をもたせることができ、技能の向上が見られた。
- ・調理や裁縫において、材料に工夫した一品を加えてよりおいしいものを作成したり、不要品からリフォームして、必要なものを作ったりする活動を通し、自分の課題に向かって創意工夫し、積極的に学習に取り組み、生活を豊かにする工夫や実践を行えるように学習を設定できた。

#### (2) 課題

- ・技能の向上は見られるが、なぜそうするのか、その必要があるのかという知識面とのつながりが希薄な児童もいる。さらなる知識の定着のための工夫が必要である。
- ・家族の一員として、協力できるための技能を身に付けることはできたが、各家庭の環境もあり、実際に家庭生活において実践に結び付けることは難しい。

### 2 今年度の分析（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な理解と技能の向上のため、毎時間の学習指導の流れを工夫する。そのため、ICT 機器と実物教材の効果的な併用、スモールステップを意識した学習、実習の充実などを進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を伴う学習では、学習したことと自分の生活を結び付けるような学習問題の提示をする。児童の経験との共通点を見つけ、学習内容を自分事とし捉え、自ら課題をもって取り組めるようにしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、学習したことを家庭で実践できるようにするため、児童一人一人が自信と意欲をもてるよう学習を進める。授業で学習したことを家庭で実践する宿題を出し、各家庭の協力などを得ながら進める必要がある。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫実習では、ICT 機器を活用し、事前に動画教材を配信する。また、同じ内容の実物教材も用意し、自分の学習スタイルに合わせて製作手順を見られるように準備する。また、理解を深めるためスモールステップによる作業や、作業に慣れるためできるだけ実習回数を増やす等の工夫をする。</li> <li>・2年間の見通しをもった指導を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理・裁縫では、基礎的な知識をもとに、自分の生活に必要なものを作ったり、住生活の題材では、学んだこと考えたことを生活に生かしたりするような学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動や体験的な学習を通して、ものづくりの楽しさや手作りのよさを体感させ、児童が物を大切にしたり、感謝の気持ちをもったりできるように、支援をする。また、学習の振り返りをさせることで、児童が次の目標をもてるようにしていく。</li> <li>・学習したことを、学習で終わらせずに生活に生かしていく気持ちをもてるようにしていく。</li> </ul>